

杏林大学車内公開講座 Vol.1

いろんな分野があるから
教養なんだ



杏林大学

外国語学部／総合政策学部／保健学部／医学部
入学センター TEL.042-691-8613(直)
<http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/>

西／あの作品は、あまり好きではないとか？

笈川／良くできているとは思いますが。ただ、あれを「事実だ」というのは、ちょっとあざといですね。PRとしては大成功ですが。

西／妻や娘はともかく、イエスに弟がいたことは認められていますよね。

笈川／「主の兄弟ヤコブ」として聖書に登場します。ちなみに、日本では、十字架で死んだのは、弟のヤコブで、イエスは逃れて日本に来た、なんて逸話まであります。それが青森県の戸来(へらい)村(現新郷村)で、「へらい」は「ヘブライ」に通ず、というわけです。

西／キリスト教徒ではない人間からすると、「事実だ」という主張を、聖書の記述に基づいて「事実ではない」というのは、同じレベルのようにも思えますが。

笈川／イエスに関しては、聖書以外ほとんど資料がないわけですから、しかたがないですね。ユダヤ人歴史家ヨセフスの『ユダヤ戦記』(75～79年)に、イエスに関する唐突な記述があります。が、おそらくそれもキリスト教徒が後から入れたものでしょう。

西／歴史についての「事実」というのは、資料の信頼性も含めて、結局は「信じる」という行為と不可分なのでは？

笈川／キリスト教にとつては、天地創造から今日までいろいろな「事実」があり、その時間経過自体が、信仰の体系を形成しているのでしょうか。

西／新たに発見された、それとは別の資料に基づく別なイエスの像は、「信仰」に抵触するんですね。

笈川／かなり前ですが、ある映画で、十字架上のイエスに、悪魔がもう一つの人生を提示するんです。そこでは、イエスがマグダラのマリアと結婚して、子供をもうける。さて、どっちを選ぶのだ？というわけです。これを上映したパリの映画館は放火され、死者が出ました。

聞き手
総合政策学部教授 [経済学]
西 孝

話し手
総合政策学部教授 [中東政治]
笈川博一

ダ・ヴィンチ・コードの宗教学